



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

THE Y'S MEN'S CLUB OF KOBE WEST

神戸西ワイズメンズクラブ

CHARTERED May 14th 1961

■事務局 神戸YMCA須磨ランチ 〒654-0081 神戸市須磨区高倉台4丁目12
TEL 078-734-0183 FAX 078-734-0585

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

主 題

国際会長 Philip Mathai (インド) 「世を照らす光となろう」 (Be the light of the world)

アジア地域会長 Oliver Wu (台湾) 「歳月はYsをワイズ(賢者)にする」

西日本区理事 成瀬晃三(名古屋クラブ) 「先頭に立ってワイズの光を輝かそう。クラブで、地域で、国際社会で」

六甲部部长 上野 恭男 (芦屋クラブ) 「柔軟な創造で愚直に積極的なワイズライフを楽しもう」

クラブ会長 大田 厚三郎 「設立の初心に戻り、一歩から踏み出そう」

西日本区強調月間 Youth Activities

将来のYMCAとワイズを担うユースを育てるための活動と支援をしましょう。

下村明子 Yサ・ユース事業主任 (名古屋グランパス)

今月の聖句

人は倒れても、打ち捨てられるのではない。主がその手をとらえていてくださる。

旧約聖書 詩篇 37 編 24 節

2012年8月納涼例会

日時 8月21日(火) PM6:30~
場所 新神戸、グリーンヒルホテル 1F
「ビアホール」
神戸市中央区加納町2-8-3
☎078-222-0909

開会点鐘
ワイズソング
聖書朗読・祈祷
メンバー紹介
懇親会
誕生日のお祝い
ともに歌おう
事務報告
閉会点鐘

【例会にはブリテンをご持参下さい。】

7月のデータ

在籍会員数 12名
例会出席者数 16名
うち会員数(事務例会含む) 8名
会員出席率 66.7%
メネット・コメント数 2名
ゲスト・ビジター数 6名

ファンド(これまでに西日本区へ総金した額)

・ Yサ、ユース 0円 ・ C S 0円
・ ユースコイン 0円 ・ B F 0円

誕生日おめでとうございます!

(8月のお誕生日)

岡山美弥メネット (8月8日)
岡山泰典メン (8月13日)
宮田泰子特別メネット (8月26日)

報告 2012年7月キックオフ例会（総会）

日 時 7月17日（火）18：30～

場 所 神戸YMCA、4階、サイコー亭

出席者 神戸西メン：井上恵子、上杉 徹、大田厚三郎、太西裕二、岡山泰典、野口善國、山田喜代子
吉田昌義、メネット：松本恵子、大田忠子、ゲスト：村山さん、平谷潤さん
六甲部：上野恭男部長、柏原佳子書記、桑野友子会計、鵜丹谷剛EMC主査

- 内 容
- ① 上野部長から六甲部方針についての説明があり。飯田部長急死の後を受けて飯田部長の方針をそのまま継承することとされた。
 - ② 鵜丹谷剛EMC主査からは、5年後10年後にもクラブを継続したいかどうか。新会員の獲得を継続的に取り組まないと、クラブは自然に消滅してしまうとの説明あり。
 - ③ クラブ総会
2011活動報告、2011会計報告、2012活動方針、2012会計予算
(詳細は、神戸YMCAのHPの中にある「ワイズメンズクラブ六甲部HP」内の「神戸西クラブHP」をご覧ください。)

2012年8月 納涼例会（再掲）

日 時 8月21日（火）PM6：30～

場 所 新神戸、グリーンヒルホテル 1F「ビアホール」
神戸市中央区加納町2-8-3、☎078-222-0909

会 費 3千円

内 容 神戸学園都市クラブ、神戸クラブ等からも参加あり。
岡山泰典メンのギターで懐かしの歌をうたいます。ぜひ、友人、知人、家族をお誘いください。

- 料 理
- ①飲み放題：生ビール、黒生ビール、焼酎（いも、麦）、チューハイ各種、
ウーロン茶、オレンジジュース
 - ②大皿卓盛り：充実の料理、ディナーにぴったり。

2012年9月例会 予告

日 時 9月18日（火）18：30～21：00

場 所 三宮、神戸YMCA本館、4階、サイコー亭

内 容 人生講話「シアワセの処方箋」

ゲスト講師 長谷川 隆史 氏（税理士事務所経営、青谷福音ルーテル教会会員）

○ラジオ・福音放送ルーテルアワー「心に光を」において、6日間連続放送出演された。

○ふりかかった数億円の負債・・・、その体験をもとに、誰もが知りたい〈シアワセの処方箋〉
を熱く語る。ぜひ、ご期待下さい。

会 費 夕食代 2千円

熊本豪雨被害支援関係の取組み (日本YMCA同盟報告)

今回の九州地域の豪雨災害における熊本YMCAの被災者支援活動に対しまして全国のYMCA・ワイズメンズク

ラブの皆様のお祈りとご支援をいただき心より御礼申し上げます。

熊本市内は先が見えてきましたが、阿蘇地方は先が見えない状況にあります。続けて全国の皆様のバックアップをお願い申し上げます。以下、これまでの経緯と現状をレポートいたします。

熊本市内のボランティア活動には学院・高等学校・教職員を中心に約 150 人を派遣、7月 31 日で熊本市内のボランティア活動は収束予定。阿蘇地域は継続的な支援が必要であり、熊本から阿蘇への JR が不通であることもありボランティアが不足している。特に高齢者からの支援要望が多いのが特徴。

YMCA 阿蘇被災者支援ボランティアハウスは 10 日間で 114 名が活用し宿泊・食事・入浴を無償で提供している。阿蘇 YMCA を中心に 7 月 15 日～7 月 22 日の間に行われた緊急支援活動に全国の YMCA から約 150 名の仲間の協力を得ることができた。仙台 YMCA や地元企業からの支援物資によって現場が随分支えられている。家屋の排土作業においては、阿蘇特有の火山灰質の土が粘土状に固まってきており、時間の経過とともに徐々に固形化してきているので早期の作業が求められている。不安な状態に長くおかれている高齢者や子供たちの心のケアへの取り組みが今後求められてくる。

7 月 11 日～断続的に大雨が降り続き、熊本市内、阿蘇地域で大水害が発生する。

7 月 13 日 阿蘇 4 保育園を休園・被災者支援方針決定

7 月 14 日 阿蘇市防災担当・社会福祉協議会と連携の打ち合わせ

7 月 15 日～16 日 阿蘇地域に避難命令が時々出される中、第 1 回緊急支援活動を実施。熊本 YMCA 会員・職員・鹿児島 YMCA (4 名) を中心に 72 名がボランティア活動を行う。

7 月 17 日 阿蘇 YMCA を「YMCA 阿蘇被災者支援ボランティアハウス」として被災者及びボランティアに無償で宿泊・食事・入浴を提供開始

7 月 20 日 仙台 YMCA からワークに必要な支援物資 (スコップ・軍手・マスクなど) が届く大阪 YMCA からビブスの貸出提供を受ける

7 月 20 日 阿蘇市ボランティアセンターに、不足していたミネラルウォーター、タオル、塩飴を緊急物資として YMCA から届ける。同盟の手配で YMCA 石巻支援センターから高圧洗浄機 3 台が届く。

7 月 25 日 ANA 熊本支店からスコップ 90 本、バケツ 135 個の支援物資を受け取る

7 月 21 日～22 日 第 2 回緊急支援活動を阿蘇 YMCA を中心に実施。横浜 (2)、同盟 (1)、北九州 (7)、福岡 (1)、他、西日本地区のワイズメンズクラブ、熊本 YMCA 会員・職員などの関係者 76 名がボランティア活動を行う。

7 月 28 日 第 3 回阿蘇被災者支援活動を実施予定 9 時～15 時

* 7 月 20 日～8 月末 熊本市ボランティアセンターを通して熊本市内のボランティア活動に YMCA 学院・高等学校の学生・教職員約 150 名を派遣

* 7 月 17 日～26 日までの 10 日間に阿蘇 YMCA を「YMCA 阿蘇被災者支援ボランティアハウス」を利用した一般の方は 114 名昨年、2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、改めて我々に寄り添う力と絆の大切さを実感させ、未永い継続した支援の重要性を認識している所です。

今後の日程

◆ 2012年8月事務例会

日時 8月28日(火) 19:00～20:00

場所 三宮、神戸YMCA本館 5階、503会議室

◆ 2012年六甲部会

日時 9月8日(土) 13:00～19:30

場 所 ホテル竹園芦屋（JR芦屋駅前）

部会テーマ 「みんなで楽しく歌おう！」

内 容 第1部：式典

第2部：演奏 プティ・タ・プティ（女声8名のグループ）

第3部：みんなで楽しく歌おう

第4部：懇親会

会 費 8千円

◆ 2012年9月例会

日 時 9月18日（火）18：30～21：00

場 所 三宮、神戸YMCA本館 4階、サイコー亭

◆ 2012年10月 「じゃがいも基金」の取組み

日 時 10月20日（土）の予定

ビラ・申込書を近日中に作成し、お渡しします。早い時期からの顧客の注文取りをお願いします。

お 知 ら せ

◆ 六甲部EMC研修会

日 時 8月14日（火）18：30～21：00

場 所 三宮、神戸YMCA本館 4階、サイコー亭

内 容 神戸クラブ8月例会の「EMC研修」を六甲部研修とします。

講師 米村 謙一 EMC事業主任

会 費 1500円（食事代）

BFからのお願い

使用済み切手につきまして、毎月の例会時に、その都度、ご持参して下さるよう、お願いします。

会計からのご連絡

* 例会時に2012年度第1四半期（7月～9月分）の会費9千円の納入をお願いします。

◎ 郵便振込もできますのでご利用下さい。会費についてのご相談は、野口メンまで

記号 14330 番号 8046701 口座名義 神戸西ワイズメンズクラブ

理 事 通 信 西日本区理事 成瀬 晃三（名古屋クラブ）

理事主題 「先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」

Let Y'smen Light Shine before Others . In the club, in the community, in the world

暑中お見舞い申し上げます。また、九州北部における豪雨によって被災された皆さまには心よりのお見舞いを申し上げます。いまだ、復興に向けた支援活動の継続が求められています。現地における具体的な支援活動と共に、不足する支援物資提供のご協力を心よりお願い申し上げます。

さて、西日本区において8月に強調するのは Youth Activity です。今期のキーワードのひとつにYouthがあります。昨年、東山荘で開催されたYMCA大会に出席しました。そこで勇を鼓して出席している若者達に「ワイズメンズクラブを知っているか？」と聞きました。名前を聞いたことがあるとの回答はチラホラ、何をしているか知らないがほとんど。リーダーに対しこんなことをしている、あんなことをしていると言

っても、YYフォーラムを開催していても実情はこのようなものです。今季の目標のひとつに、来年8月にフィリピンのマニラで開催されるアジア大会のユースコンボケーションに少なくとも各部から一名を派遣する としました。皆様もご存知のように、最近の男子はあまり海外へ出掛けることは好みません。我が家においても娘は自分で留学を決めてきたのに対して、息子は「俺は日本人だ」とか言ってはぐらかしていました。もう3年前のことになりますが、ジャカルタのレストランで所謂「ゴウコン」をしているのを見ました。女子がそれだけ進出しているのです。ゴルフ保険の勧誘に来たのも日本人女子社員でした。とはいえ、先期の事業になります、ノルウェーの国際大会に派遣するユースコンボケーション参加者の8人の内訳は、なんと男子が6人、女子2人です。

また、今期STEPで派遣するのは大西慎太郎君。しかも派遣先はケニア。我々年寄り共は昔「少年ケニア」って雑誌の連載があったよねと壮行会で懐かしむのみ。少しは、男子も元気になって来たかな。よしよし。とにかく、若者をワイズメンズクラブに繋がる仕組みを真摯に考えましょう。

【西日本区事務所夏期休業について】

8月11日(土)～8月17日までを夏期休業とします。この間の緊急の用件は、西日本区事務所職員代理の森本榮三(大阪高槻クラブ)もしくは、平野書記、理事事務局谷川にご連絡ください。森本榮三 携帯電話 090-3282-8263 E-Mail: fwpf2962@nifty.com平野実郎 携帯電話 090-3303-6255 谷川 修 携帯電話 090-7301-1960

西日本区会員数は、1634名(特別メネットは除く) 87クラブ(2012年7月1日現在)です

「前期半年報」集計の結果、西日本区の7月1日現在の会員数が確定しました。前年同期比44名減です。詳細は、ホームページにアップ、区報第1号に掲載しております。大変厳しい状況です。各部、各クラブ、各メンバーがこの現実を真摯に受け止め、2000という目標に向かって、前半期中での増員を進めていきましょう。

区事務所職員 代替え要員にて対応中

北村区事務所職員が病気療養することとなり、代替え要員として 森本榮三ワイズ(大阪高槻クラブ)が、復帰までの期間、事務所につめて対応をお願いしています。また、国際関係は、大槻信二ワイズ(京都センチュリークラブ)をお願いしています。

7月7日(土)～8日(日) ホテルクライトン新大阪にて、今期第1回役員会が開催されました。各部長、事業主任・委員会委員長より年度計画の具体的な報告が提案されました。議案・協議事項としては、STEP事業の支援、事業委員会の改組に伴う定款施行規則ならびに各種諸規則の改定など、9議案、7協議案が提案され、承認確認されました。詳細については、区報第2号掲載のほか、役員に議事録を配布しますので、必要な場合はご確認ください。

神戸YMCA マンスリーレポート

キャンプ真っ盛りの夏を迎えています。天候不順が続く7月ですが、今年も多くの子どもたちを迎えて夏プログラムが順調に進行しています。また、今夏は国際交流プログラムも盛んで、いつになく国際色豊かなYMCA 会館です。このまま、事故なく安全で天候に恵まれた夏が続くように願っていますが、世界的な気候変動による不順な天候に不安がよぎります。節電の夏、猛暑に、またクーラーのつけすぎに、それぞれご自愛くださいますよう、暑中お見舞い申し上げます。6 7月の出来事についてご報告いたしますので、お目通しください。

1、リーダー懇談会、開催

毎年、1～2回開催しています総主事・リーダー懇談会を6月29日(金)に開催し、各部のリーダー会の代表の方々が総主事室を訪ねていただきました。また、今回は神戸女学院大学YMCAの部長の方も参加して下さって、共にYMCA活動の状況や課題、楽しさ、しんどさということを語り合う機会となりました。私にとっても、いつものことながら、現場のリアリティを学ぶ絶好の機会となり、リーダーの方々の喜びや苦悩の一端をうかがうことができました。私からも、この夏のプログラムに対するリーダーの皆さんのご奉仕に感謝と期待を述べさせていただきます。

2、専門学校のお話

去る7月12日(木)に全国専修学校各種学校総連合会の近畿ブロック会議が大阪で開催され、私が兵庫県専修学校各種学校連合会の会長を務めていることもあり、出席してきました。現在、全国に3300校の専門学校があって、64万人ほどの学生が在籍しています。もっぱらに職業教育、専門技能教育を行い、即戦力の職業人として高い就職率を誇ってきました。しかし、少子化や大学の専門学

校化による厳しいチャレンジを受けている中、専門学校としての独自の振興策を立てようと全国レベルでの活動が続けられています。一つは大学、短大と並ぶ同条件になるための「新学校種」の創設ということですが、実現にはなかなかハードルが高い状況です。また、専門学校にはあまり馴染まなかった「通信制」や「単位制」も導入されることになりました。また、留学生受入のための活動も文部科学省からの補助金が出され活発です。このように、いくつかの振興策を進めていますが、最も大切なことは、それぞれの学校で、質の高い授業と学生ケア、そして就職指導ということです。そのための自己点検や自己評価が求められます。我が神戸 YMCA の専門学校もその努力を怠らず、独自の職業教育を進めていきたいものです。

3、日本語学校のお話

去る7月13日(金)～14日(土)、北九州 YMCA を会場に、全国 YMCA 日本語教育担当協会が開催され、私と田村光さん(カレッジ)が出席してきました。昨年の東日本大震災で大きな影響を受け、学生数が減少をした全国の日本語学校ですが、今年の春の募集状況は全国としてはほぼ昨年度と同等の募集結果でした。少し増やした学校もあれば、減らした所もあります。神戸 YMCA は若干の減少というところです。特に韓国からの留学生の減少が顕著で、円高や震災などが大きく影響していますが、日本語修得のメリットが活かせない雇用状況も影響を与えています。一方、ベトナム、ネパール、スリランカという国々からの留学生もまとまった数字であり、特に北九州 YMCA にはベトナムだけで80名の学生を獲得しています。担当者会では特別にベトナムについての書類審査方法などの研修も行なわれました。神戸 YMCA の日本語教育の歴史は古く、コミュニティもグローバル化している地域ですので、これからも益々、日本語教育の発展には期待したいと思います。

4、この夏の国際交流

去る7月9日(月)から日本語の夏期集中コースに、シアトル YMCA から11名、台中 YMCA から12名を含む多くの外国からの学生を迎えました。日本語の修得をはじめ、日本文化体験やフィールドワークを進めているところです。(8月3日まで)

シアトル YMCA からはまた、7月17日(火)から31日(火)まで、ユースグループが来神していて、高校生9名、引率2名の方々が、神戸でのホームステイや文化体験、余島や広島、京都訪問など多彩なプログラムを楽しんで交流しています。同様に神戸からも7月30日(月)から8月10日(金)の予定で、中高生のグループ15名と2名の引率でシアトルでの生活と交流をすることになっていて、藤田良祐さん(ユースプラザ)が引率します。また、私も神戸市・シアトル市姉妹都市締結55周年の神戸市訪問団の一員としてシアトルを訪問し、シアトル市長公式訪問や交流会をはじめ、シアトル YMCA との交流の機会を得ることになり、7月26日(木)から31日(火)までシアトルを訪問します。

5、九州北部豪雨について

去る7月13日(金)を中心に起こった九州北部地方での豪雨災害について、熊本 YMCA の阿蘇キャンプ場をボランティアセンターとして、熊本 YMCA が復旧支援の活動を続けています。ボランティアが不足している様子が配信されていて、応援できれば良いなと思いつつ、なかなか応えられない状況でございました。17、18日に小澤昌甲さん(西神戸 YMCA 保育園)が緊急で阿蘇に向かい、状況の報告がありました。阿蘇地区の住民救援組織と YMCA との連携が難しい状況なども伺いましたが、まだまだ1ヶ月くらいは作業が継続される状況のようです。神戸からなかなか支援できないもどかしさがありますが、ワズ方々で応援に駆けつける動きもありますし、神戸市社協の動きもありますので、できるならば、何か応援できればと願っています。募金も始まりました。ご支援をよろしく願います。

6、東日本大震災支援活動について

夏キャンプのプログラムの中で、この夏、二つの被災地支援のプログラムが行なわれます。一つは福島市の子どもたち40名を招待する三菱商事協賛のダイヤモンドキャンプで、7月29日(水)から8月2日(木)まで、余島キャンプ場にて行なわれます。これにはワズメンズクラブや現地のボランティアの方々も啓明学院高校のボランティアの方々もご協力いただきます。また、7月23日(月)から26日(木)までの3泊4日、宮城県を訪問するボランティアバスは啓明学院高校の生徒さん30名をはじめ、学校法人の幼稚園の教員の方々、また、シアトル YMCA のスタッフと学生3名も参加され、合計44名で出発しました。宮城県石巻市と山元町で活動することになっています。それぞれに被災地への思いが伝わり、また参加者にとってはより良き体験になりますように願っています。